

皆様お健やかに令和七年をお迎えのことと存じます。新しい年が皆様にとってより良い年となりますようお祈りいたします。

さて、私の元旦は例年通り、笠原田んぼ越しの初日の出を、次いで大間近隣公園からの初富士を拝み、埼玉県・鴻巣市の安寧を願うことから始まりました。その初日の出、雲一つない東の空から、神々しいと思える素晴らしい姿でした。そして、今年を表す十干十二支は「乙巳(きのとみ)」、草木がしなやかに伸び広がる様子や脱皮を繰り返し成長する蛇のように、再生や変化を繰り返しながら発展していく年だとのこと。私も、そのような成長を遂げられるよう今年も「県政」に邁進してまいります。

チャレンジ通信

埼玉県議会自由民主党議員団 幹事長

なかやしき慎一

睦月に思う

12月定例会報告

補正予算【第3号】

光熱費高騰対策費 約9億5,707万円等

を議決

vol. 82

県議会12月定例会は12月2日から20日まで開催され、一般会計補正予算【第3号】9億5,707万3千円等を議決しました。補正予算【第3号】は、県有施設等(学校や図書館、信号機や道路照明等)における光熱費高騰に対応するための経費になります。

また、防災拠点校の体育館に空調設備を早期に整備するため、債務負担行為(来年度の支出としてあらかじめ決める)限度額5,539万円が設定されました。これは、能登半島地震の教訓を踏まえて、防災拠点校全36校の空調設備の設置スケジュールを前倒しで進めるための措置です。ほかに公共事業等の施行時期の平準化・適正工期の確保のため、債務負担行為限度額258億3,552万6千円(繰越明許費186億3,447万5千円)の設定が議決されました。

防災拠点校への空調設備設置の前倒し <債務負担行為の設定 限度額5,539万円>

概要

長期の避難生活においても、熱中症等の危険性がない安心・安全な環境を確保するため、**防災拠点校* 10校**の体育館の空調設備設計を**前倒し**、早期に着手する。

* 備蓄倉庫、太陽光発電、自家発電装置等を備えた学校。
全ての防災拠点校に自家発電装置が整備されており、停電時でも空調稼働が可能

体育館空調設置イメージ



設置計画

防災拠点校36校の空調設置スケジュール(予定) ※R7末統廃合予定の拠点校1校を除く

区分		R5	R6	R7	R8以降
当初計画	設計	7	7		22
	工事		7	7	22
前倒し	設計	7	7+10	12	
	工事		7	7+10	12

今回提案分

効果

令和7年度末までに防災拠点校10校の体育館へ空調設備を設置
災害時における避難所としての生活環境を改善

第75回 全国植樹祭
令和7年5月25日(日曜日)
主会場 秩父ミュージックパーク



県政のさらなる発展と安心・安全の実現に全力で取り組む埼玉県議会自由民主党議員団(全56名)

課題解決のための

調査！行動！実現！

稲作におけるカメムシ・高温障害について

11月6日、JA南彩本店において
 一昨年の「酷暑」の影響で、昨年夏から全国各地で発生した「米不足」。2024年も厳しい暑さが続いたものの、当初新米の成長は各地で順調であり、JA全農の「買取り概算金」も3割程の上げ幅となり、生産者にとってはありがたい状況かと思われました。が、本県の推奨米である「彩のかがやき」は奥手品種であり、去年も高温障害の甚大な影響を受け、その上継続する温暖化の中で、越冬するカメムシの被害も受けてダブルパンチ状態。特に被害の大きかった県東部地域では例年の1～2割の収量にしか至らない生産者も存在。それらの皆さんと、関東農政局、県農林部の意見交換会を開きました。鴻巣からもお二人の生産者に同行してもらい意見を述べていただきました。**その後、高温障害については、本市でも14.7haが特別災害の指定を受けるに至りました。**

カメムシ問題については、現段階で確たる回答を得られていませんが、「防除」についての情報共有は必須だと伝えてあります。



働き方改革の推進について！

11月18日、**県議会総務県民生活委員会** 視察1日目は、「コクヨ株式会社東京品川オフィス」を視察。

県庁でも、人材確保や健康経営の視点、DX化によるオフィスの意義や県民サービスの变化等を踏まえた上で、職員の新しい働き方や執務環境の在り方の検討が急務であり、こうした工夫を活かした県庁舎の建て替えを同時並行で進める必要が極めて重要である。

これを怠ると、優秀な人材が再整備の決定している、さいたま市へとシフトされてしまうかもしれない。

文化芸術の振興について！

11月19日、視察2日目。

水戸芸術館は、写真の市制100年を記念する高さ100mのタワーをシンボルとする音楽・演劇・美術を身近に感じるための創作体験や学びの場として市民に親しまれている。文化芸術を地域社会の活力創出につなげるには、こうした拠点はどうしても必要だ。彩の国さいたま芸術劇場や近代美術館なども、より県民に親しまれる存在となってほしい。



安全・安心なまちづくり！

11月12日、上尾駅西口で**県議会防犯のまちづくり推進議員連盟**所属議員として「県央地域防犯のまちづくり街頭キャンペーン」に参加。JR上尾駅を利用する皆さんに自転車盗難防止ワイヤーロックやチラシなどを配布し、犯罪被害防止を呼びかけました。当日は、上尾～鴻巣のすべての所属議員で参加しました。



埼玉武蔵ヒートベアーズ所属選手 NPBドラフト指名報告！

11月20日、埼玉武蔵ヒートベアーズ町田隼乙選手(キャッチャー)が阪神タイガース4位指名を受け、議長を訪問されました。

私も、**県議会野球振興議員連盟の副会長**として同席しました。

タイガースといえば本市出身の桐敷拓馬投手が活躍中。町田選手にバッテリーを組めるようにと激励しました。



全国高等学校ラグビーフットボール大会 埼玉県代表 昌平高等学校を激励！

12月9日、第104回全国高等学校ラグビーフットボール大会に埼玉県代表として出場する昌平高等学校の激励会を、**埼玉県議会ラグビー振興議員連盟**が開催しました。

私は**連盟会長**として齊藤邦明議長とともに激励の言葉を贈りました。結果としては「花園での年越し」には至りませんでした。今後ますます精進して目標を達成してもらいたいと願っています。



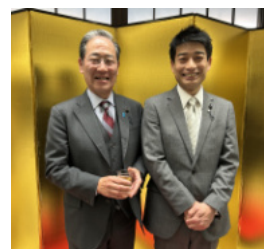
新年賀詞交歓会

1月7日、新年の県議会は、大野知事をはじめとする県執行部の皆さんと、県議会議員との賀詞交歓会から始まりました。この賀詞交歓会、主催を執行部と議会側で一年おきに担い、今年は議会の主催。

令和4年度、私が議長を務めていた時は今回同様議会側の主催でしたが、参加者の皆さんは、マスクを着用したうえ、足元にはソーシャルディスタンスを保つための目印テープが貼ってありました。それから2年、ゆっくりとはいえ「日常」が戻りつつあるのを実感しました。齊藤議長は、県民福祉の向上に向け議会がそれぞれの立ち位置の中で、一致団結して進もうと挨拶されました。大野知事からは、起こりうる変化に果敢に挑んでいく旨、力強い挨拶をいただきました。一丸となり進んで参ります。



大野元裕知事と



齊藤邦明議長と

全国選手権4連覇の埼玉いちご！

<p>令和5年2月開催 第1回全国いちご選手権 「あまりん」 最高金賞 ～上位12品中5品が埼玉県～</p>	<p>令和5年12月開催 クリスマスいちご選手権 「べにたま」 最高金賞 ～上位7品中3品が埼玉県～</p>
<p>令和6年2月開催 第2回全国いちご選手権 「あまりん」 最高金賞 ～上位20品中11品が埼玉県～</p>	<p>令和6年12月開催 第2回クリスマスいちご選手権 「べにたま」 最高金賞 ～上位14品中9品が埼玉県～</p>

※いずれも日本野菜ソムリエ協会主催

県オリジナル品種の特徴と生産状況

品種の特徴	生産状況
<p>あまりん 甘さ推し！ 際立つ甘さと深みのある味</p>	<p>○本県のいちごの産出額 46億円 栽培面積 95ha ○県オリジナル品種の栽培面積(R6.11現在) あまりん 24.9ha (+ 8.2ha) かおりん 0.8ha (+ 0.2ha) べにたま 4.7ha (+ 2.9ha) 合計 30.4ha (+11.3ha) <small>※栽培面積R5.11Eの記載</small></p>
<p>かおりん 香り推し！ 酸味と甘味が高く豊かな香り</p>	
<p>べにたま バランス推し！ 高い糖度と爽やかな酸味</p>	
<p>品質・食味の維持・向上の取組</p> <p>●県下全域で生産者自身が参加する食味会を開催 ●生産者全員のいちごを糖度測定</p> <p>▶▶ 県オリジナル品種の品質と食味を維持・向上！</p>	

埼玉いちご4連覇！

知事会見から嬉しいニュース。埼玉のいちごが全国選手権4連覇。このいちごが賀詞交歓会でも提供され大人気でした。生産者の皆さんの不断の努力に心から感謝。皆さんも是非とも食べてみてくださいね！